

CUROLLIG (カローリング)

「カローリング」はカナダや北欧の国々で親しまれている水上のスポーツ<カーリング>からヒントを得て平成5年6月に誕生したインドアスポーツです。「カローリング」は子供から子どもから高齢者まで年齢・性別・体力に関係なく気軽に競技できます。体育館や屋内のフロア(床面)を利用するため、天候に左右されません。味方のジェットローラーをポイントゾーンに近づけたり、相手チームのジェットローラーを弾き飛ばしたりして最後の1投で大逆転もあり、とてもスリリングなスポーツです！

※入所後の打合せは行いませんが、確認表の事前提出をお願いします。



活動のねらい・期待される効果

- グループの協調性・協力性を高めることができます。
- 年齢、性別、体力に関係なく、誰もが楽しく参加できるコミュニケーションスポーツです。

一斉実施可能人数	30人	活動季節・条件	通年
所要時間	2～3時間	実施場所	講堂、卓球場、体育館など
主な対象	小学生～		
指導について	要望があるときは、実施前に交流の家職員が用具の使い方・実施上の諸注意・ルール等について、実演を交えた事前説明をします(約10分程度)。また、試合の最初のインングを終えて得点を判定するところまでは立ち合います。その後は、団体による自主運営で実施してください。		

活動の概略

○事前に以下の内容を決めて、前日までに「確認表」を提出します。

- ◆チーム編成(1班の人数)
- ◆実施インング回数
- ◆貸出希望物品

※交流の家にはカローリングセットが2セットあるので、一度に2コート4チームの試合ができます。また、基本的には1チーム6個のジェットローラーを使用しますが、チームの数が多いときは、使用するジェットローラーを1チーム3個にしてインング数を増やすなどの工夫が考えられます。

≪基本的なゲームの進め方≫

①1チーム(3～6人)で、相手チームと1投ずつ交互にポイントゾーンを目標に投球します。

1インング目はジャンケンで先攻を決めます。次からは、得点したチームの先攻。両チーム無得点のときは、前のインングで先攻したチームが再度、先攻となります。

②ジェットローラーの投球順は、**橙、青、緑、黄、黒、赤**の順です。全て投球したらインング終了で得点を数えます。

ポイントゾーンの中心が一番近いチームの勝ち、3点、2点、1点とジェットローラーの位置によって得点が増算され、インングの得点となります。(詳しくは、「カローリング確認表」裏面をご覧ください。)

③6インングで競い合い、**総得点の多いチームの勝ち**です。

なお、5インングはラッキーインングです。(3点・2点・1点)は、(6点・5点・4点)となります。逆転のチャンスです。

※ここに記載した進め方は、交流の家で実施している「さんべ版」です。

※ルールは団体の実態に応じて変更できます。例えばインング終了時にジェットローラー停止ゾーンのポイント合計をそのまま得点としてカウントすることにより、両チームが得点のよさを実感できます。

準備物

交流の家が貸し出しできる用具・材料

- カローリングセット2セット(1セット:ジェットローラー12個、ポイントゾーン2枚)
- ホワイトボード(得点板用)
- 養生テープ(ポイントゾーン貼付け用)
- 巻き尺(正式11mを計測する場合に使用)
- 電子ホイッスル
- ルール説明用資料(A3判 紙芝居形式)

当日の動き

- ①貸出物品の運搬、会場準備、体操
事務室で貸出物品を受け取って会場に移動し、コートづくり、ホワイトボードの移動をします。事前の準備運動を行ってください。
- ②ねらいの確認と事前指導
活動のねらいを確認し、用具の使い方やルール、実施上の諸注意等について事前指導をします。※要望があるときは、交流の家職員が事前指導を行います。
- ③活動(展開)
1コート2チームで対戦します。2コート、4チームで活動できます。※1チームは、3人(2投ずつ)が正式ルールですが、1チーム6人(1投ずつ)まで可能です。
- ④振り返り
対戦終了後、チームでの振り返りを行うことにより、チーム内での自分自身と仲間への理解の深まりが期待できます。
- ⑤片づけ、物品の返却
会場の片づけを行い、貸出し物品を事務室に返却してください。

安全対策・環境への留意点

- ジェットローラーは、壁にぶつけるなど、強い衝撃は与えないください。
- また、故障の原因となるので、ジェットローラーの上に乗らないようご注意、ご指導ください。